

(1) 概要

本市の公共下水道は、昭和48年に「多賀城市流域関連公共下水道事業」として着手し、本市大代地区に東北初の流域下水道として松島湾・七北田川などの公共水域の水質保全の緊急課題として整備し昭和53年に供用が一部開始した現在3市3町（多賀城市・仙台市泉区・塩竈市・七ヶ浜町・利府町）の生活排水処理施設である仙塩浄化センターを利用し処理している。事業開始から平成26年度末現在で既予定処理区域1,440.24ha（污水）の約96%に相当する1,378.88haの整備が完了し、污水管渠はほぼ概成した状況となっています。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理普及率：H26 99.8%

H37 100%

H47 100%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（単独及び流域）

本市の污水事業についてはほぼ概成しているが、既存施設などについては人口減少も含め、該当地域の人口や土地利用など現在の短・中期ではない中・長期的な将来把握を地域間バランスも考慮しつつ十分検証し経営という観点から考える必要があります。

また、使用料の安易な値上げに繋がらない未整備地域の最善の整備、更新についてはその施設などに適合し長寿命が見込める更新手法などを最重要検証事項と位置づけ、公共衛生を保つ重要なライフライン施設として、将来的に必要な施設の再検証を含め柔軟な判断による事業経営を責任持って実施していきます。

下水道普及率：H26 99.8%

H37 100%

H47 100%